

ジビエプラットフォームのご案内

ジビエの川上から川下までの情報を「見える化」

●これまでのジビエの流通は、捕獲、処理加工、販売段階のそれぞれでデータが管理されており、また形式も管理システムも統一されたものがなく、必要な情報は複数のシステムから入手する必要がありました。

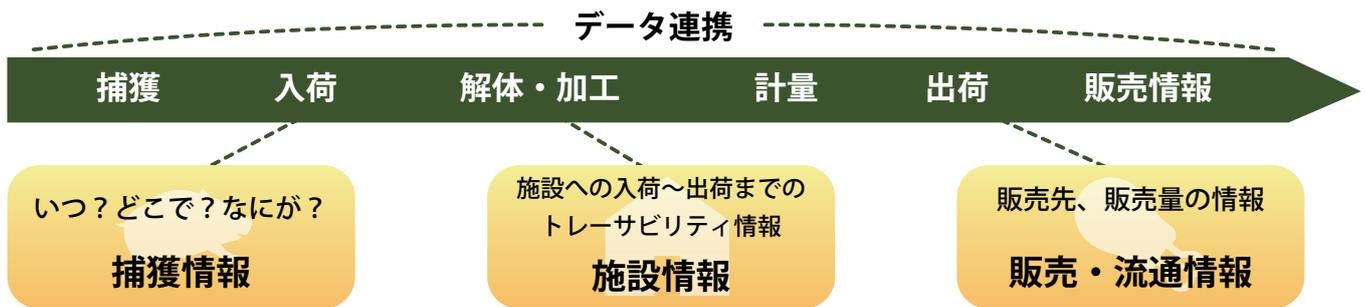
●今回、農林水産省令和元年度補正予算「捕獲・ジビエ利活用情報ネットワーク化実証事業」において、これらの複数のシステムや形式で管理されているデータをAPI※を用いて連携、活用できる環境を整備しました。

※ Application Programming Interface

●このAPIを用いて連携、活用できる環境を「ジビエプラットフォーム」とし、具体的には、ジビエに関する各種情報（捕獲情報、処理加工情報、販売情報等）をAPIで複数のシステムと連携させ、シームレスに情報取得ができるプラットフォームとなっています。

●今後、複数のシステムの連携を進めることで、在庫情報などが見える化され、必要な時に必要な情報を確認することが可能となります。

《ジビエプラットフォームイメージ図》



「見える化」のメリットは…

更なるジビエ利活用の推進、加工施設の経営改善、
買い手側や消費者への安全な食の提供を実現！

地方自治体
(地域協議会)

- 国内、県内、市内（管轄の施設）のデータ（捕獲数、施設持ち込み数、利活用率）が見える。
- データから課題解決の対応策、地方創生、観光誘致などの推進が図れる。

処理加工施設

- 電子化により効率化が図れる。
- 販売サイトとの接続により、販路拡大及び販売促進につながる。

買い手
(飲食店、小売店、消費者等)

- トレーサビリティが付与された安全安心なジビエが部位ごとにいつでも何処で買えるのかがわかる。

API 連携先事業者について

- API 連携先の事業者（捕獲システム、処理システム、販売 EC サイト）についても、ジビエプラットフォームの活用が進むと、各システム（サイト）の活性化が図られます。
- API の連携を希望する事業者におかれましては、お問合せ先へ御相談ください。

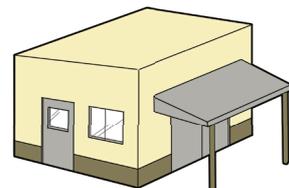
API 連携済み事業者の紹介（2021 年 12 月末現在）

	事業者名	サービス名 / 製品名	サービス概要 / 製品概要	各サービスの利用料金
捕獲情報	(株) NTT ドコモ	簡単位置情報 (kagatta)	捕獲わな ICT センサー	<p>(契約により変動) 月額利用料 770 円～ ※初期費用として本体含め 69,700 円が必要です。 ※詳細はホームページをご参照ください。</p>  <p>https://www.nttdocomo.co.jp/biz/service/kagatta/</p>
処理施設情報	(株) インダ	ジビエトレーサビリティシステム	処理施設内トレーサビリティ、在庫情報管理システム	<p>350 万円（ハード・ソフトウェア） ※導入機器により変動します。 ※詳細はホームページよりお問合せください。</p>  <p>https://www.ishida.co.jp/ww/jp/contact-us/enquiry-product.cfm</p>
販売情報	(株) NTT ドコモ	The Gibier	処理施設（販売情報）と購入者（主に個店）とのマッチング	<p>サービス利用料は無料。 ※詳細はホームページをご参照ください。</p>  <p>https://gibier.cc/</p>

ジビエプラットフォーム活用の処理施設（自治体）（2021 年 12 月末現在）

- 以下の処理加工施設（自治体）については、ジビエプラットフォームをご活用いただき、捕獲情報、処理情報等のトレーサビリティを付与したジビエの在庫情報を見る化しています。

- ・信州富士見高原ファーム
- ・わかさ 29 工房（鳥取県若桜町）
- ・西米良村ジビエ加工処理施設（宮崎県西米良村）
- ・イズシカ問屋（静岡県伊豆市）



《お問合せ先》

API 導入に関するシステム要件、動作環境、利用料金、必要事項等の詳細については、以下の連絡先にご相談をお願いいたします。

国産ジビエ流通規格検討協議会
(一般社団法人日本ジビエ振興協会内)

TEL : 0266-75-1885

MAIL : info@gibier.or.jp

ホームページ内の
お問い合わせフォームも
ご利用ください。

